

新居浜市SDGs推進プラットフォーム会員のSDGsに関する取組状況

団体番号 (入会日順)	56	入会日	令和5年06月07日
団体名称	住友林業株式会社新居浜事業所		
代表者	所長 川浪 聡		
業種	農業・漁業・林業		
所在地	〒792-0002 愛媛県新居浜市磯浦町2番1号		
TEL	0897-37-5120		
SDGsについて 現在取り組んでいること	<p>■特例子会社スミリンウッドピース(株)による障がい者雇用の促進(同社は新居浜市が進める木育事業の一環として新生児誕生家庭にプレゼントしている「木育パズル」を製作)。</p> <p>■建材商品を製造する住友林業クレスト(株)による持続可能性と生物多様性に配慮した木材・資材の調達。</p> <p>■リフォーム事業を行う住友林業ホームテック(株)が住友山田社宅の保存再生、日暮別邸の移築再生工事を請け負い、文化遺産保護に貢献。</p> <p>■地球温暖化対策や生物多様性保全に貢献している国内社有林の約31%(1.5万ha、内60%以上を環境林として維持・管理)を新居浜で管理するとともに、弊社山林事業と環境取り組みを発信する施設として、新居浜市別子山に「フォレスターハウス」を有し、無料で一般公開している。</p>		
目指しているゴール (今後目指したいゴール)			
SDGsについて 今後取り組みたいこと	<p>住友林業グループでは2022年2月、SDGsの目標年でもある2030年を見据え、脱炭素社会の実現に向けて、住友林業グループとしてのあるべき姿を事業構想に落とし込んだ長期ビジョン「Mission TREEING 2030」及び中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase 1」(2022年～2024年)を策定しました。5つの基本方針の一つには「事業とESGの更なる一体化」を掲げており、これに基づきサステナビリティ戦略及び重要課題を組み入れた「中期経営計画サステナビリティ編」を定めています。住友林業グループが定めた9つの重要課題へ取り組む具体的な数値目標を、SDGsの視点を織り込み事業本部ごとに設定しています。2025年からは、飛躍的成長に向けた改革と具体化の3年として、中期経営計画「Mission TREEING 2030 Phase 2」(2025年～2027年)を策定。「中期経営計画サステナビリティ編」も新たな指標を掲げ、達成を目指すことで、持続可能で豊かな社会の実現に貢献していきます。</p> <p>「Mission TREEING 2030 Phase 2」基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素化への挑戦 ・稼ぐ力の向上 ・グローバル展開の深化 ・経営基盤の強化 ・事業とESGの更なる一体化 		